

科目ナンバリング		U-LAS05 20010 LJ39										
授業科目名 <英訳>		人文地理学各論Ⅰ（都市） Topics in Human Geography I(Urban Settlement)					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 久木元 美琴			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		地域・文化(各論)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	講義（対面授業科目）			
開講年度・開講期	2025・前期		曜時限	木1			配当学年	全回生		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]												
現在、世界の人口の過半数が都市に居住するといわれる。都市とはどのようなものか、都市はどのように発展してきたのか、都市を考察するうえでどのような切り口があるのかを考える。主に近代以降の国内外の都市について、発展メカニズムや空間構造の多様性、都市の諸課題とその背景を理解し、都市が今後どのようにあるべきかを自ら考えることができるようになることを目的とする。												
[到達目標]												
都市地理学の基本的な視点や方法を学ぶ。主に近代以降の国内外の都市について、発展メカニズムや空間構造の多様性、都市の諸課題とその背景を理解し、都市が今後どのようにあるべきかを自ら考えることができるようになる。												
[授業計画と内容]												
授業の進行状況や時事動向に応じて、順番やテーマを変更することがある。												
第1回	概要説明、都市地理学の視点											
第2回	都市圏の形成：都市の定義、都市圏とは											
第3回	産業革命と近代都市：イギリス											
第4回	アメリカの近代都市と都市理論											
第5回	東京の近代都市空間構造											
第6回	戦後日本の都市居住問題											
第7回	フォーディズムと都市											
第8回	ネオフォーディズム都市と格差の空間											
第9回	都市の空間構造：ライフコースと規範											
第10回	都市のデイリーリズムと時空間的制約(1)：時間地理学の基礎											
第11回	都市のデイリーリズムと時空間的制約(2)：時間地理学の応用可能性											
第12回	現代都市への視座（1）：世界都市論とケアの連鎖											
第13回	現代都市への視座（2）：都市空間とジェンダー											
第14回	総括											
第15回	フィードバック（フィードバック期間中に行う）											
[履修要件]												
特になし												
[成績評価の方法・観点]												
平常点（内容のまとめりに授業内で行われる小課題）40%												
期末試験（一部の資料のみ持ち込み可。持ち込み可の資料については授業で告知する）60%。												
-----人文地理学各論Ⅰ（都市）(2)へ続く↓↓↓												

人文地理学各論Ⅰ（都市）(2)

[教科書]

藤井正・神谷浩夫編著『よくわかる都市地理学』（ミネルヴァ書房、2014年）ISBN:9784623067237

[参考書等]

（参考書）

吉田容子・影山穂波編著『ジェンダーの視点でよむ都市空間』（2024，古今書院）ISBN:9784772242370

ノックス, P & ピンチ, S『都市社会地理学 改訂新版』（2013，古今書院）ISBN:9784772252669

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の授業を復習し，授業中紹介した文献等を必要に応じ参照すること。

[その他（オフィスアワー等）]

履修希望者が収容上限を超えた場合には、履修制限を行う。とくに履修を希望する学生には事前課題による「教員推薦」を行う予定。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部